No **63**



第63号 平成27年10月1日発行

八王子市民活動協議会だより

発行 NPO 法人八王子市民活動協議会 TEL/FAX 042-646-1626

〒192-0046 八王子市明神町 4-13-10 http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/



協議会 新規事業

新しい協働を実現するために



本年の敬老の日には日本の65歳以上の人口が27%と報道されました。八王子市でも昨年度で24%との報告です。高齢社会と言われる中、2015年度より第6期介護保険事業がスタートしました。この内容をみるとこれからは「元気な人が元気でない人を地域で支えるシステム」(包括ケアシステム)の構築が必要である、と書かれています。八王子市の27年度予算をみると総事業に占める保険関連事業は33%を超える予算(図参照)となっており、これからは保険関連費用を抑えることが必要であり、高齢者が元気で居続けること(健康寿命の延長)が大切です。また、事業計画では入院している人たちも、できるだけ自宅で過ごせる環境を整え、生活は自宅と位置付けています。これは高齢者の尊厳を重視した政策とも考えられます。しかし、これには家族をはじめ地域の人たちの共助が必要になります。

高齢者の元気の源は生きがいのある生活であり、協議会の多くの団体がそのための活動を行っています。また「お父さんお帰りなさいパーティー」には会員以外でも、これ

らの活動を行っている多くの団体が参加しています。

当協議会ではこれらの問題へ取り組むため「生活支援データハンドブック(仮称)」を発行することになりました。 八王子市内で活動する「生きがいづくり」をする団体、小地域で生活支援を行っている団体、もし介護が必要になった人の生活を支える NPO 団体のデータベースを作成し、冊子にまとめる事業です。この事業は冊子を作ることが目的ではなく、これらの情報をまとめることにより、八王子における資源状況を分析しサービスの空白地帯の分析、サービス内容を比較することによるサービス改善のヒント、新しく事業を始める人への情報提供などが期待できます。またこの冊子に掲載された団体同士の交流による「ネットワーク構築による八王子の活性化」を期待しています。

八王子市民活動協議 会の新規事業として 取り組みます。



| 別 後期高齢者医療 | 会 介護保険 | その他

特

計

八王子市27年度予算

国民健康保険

·般会計

(億円)

1,946

733

111

376

507

3,673

- ・この事業は昨年行った「市民活動交流会」での提案事項を具体化したものです。
- この事業は「独立行政法人社会福祉機構 社会福祉振興助成事業」です。



主事体業

民間 企業

NPO

協同組織

社会福祉 法人

ボランティア



南大沢でオトパが

開催されました

2015 9/12 (SAT)

8年ぶりに南大沢でのオトパが開催されました。平成 18年2月24日、時折小雨交じりの南大沢の体育館で開催された時とは打って変わり、長雨が続いた今年の晩夏を一掃するような晴天に恵まれました。久しぶりの東部地域でのオトパ開催ということで会場や天気よりも、「オトパ in 南大沢」にはもっと大きな特徴がありました。今回の実行委員会が地域性を活かした会にしようと準備しました。その幾つかを振り返ります。

- 1、幅広い対象: 地域デビューを考える人をシニアに限定せず、子育て中の人にも関心を持ってもらえるよう、気軽に立ち寄って戴ける構成にしました。「学ぶ・遊ぶ・育てる・働く」と多彩なテーマを設けました。出展も、町田市の団体や、実行委員としても関わって戴いた多摩 NPO センターなど地域を超え、団体も市民活動団体が中心ですが、地域包括支援センター・地域子ども家庭支援センターや地元企業などにも参加して戴きました。就業や起業のきっかけ作りの場も設けました。
- 2、運営の変容:シニアの男女もパパ・ママ世代も、気軽に市民活動に触れて欲しい、ちょっと立ち寄ってみませんか!ということで、思い切って入場無料にしました。物販も新規に取り入れました。本当は全ての出展団体を見て、交流会まで残って欲しい、との思いから「スタンプラリー」と「総選挙」も実施しました。来場者、出展者、双方にモチベーションを持ってもらう狙いからです。
- 3、その他の工夫:初参加の出展団体が2/3もあり、部屋が複数にまたがるブースを来場者に知ってもらうため、スライドショーを流しました。開催前の告知として、実行委員による2,000枚以上のちらしポスティング、facebook イベントページ活用など、初めての手段も用いました。

以上のような企画の結果、出展数:35団体、参加者総数:258名(うち、交流会参加者:120名)でした。労政会館の雰囲気とは異なり、来場者は全般的に若く、活気があふれていました。







アンケート回答を見ると、来場者・出展団体とも満足度は高く、「良かった」が69%・「普通」が31%で、「良くなかった」はありませんでした。地域や世代を超えた催しになったことについては、「幅が広がって良かった」は65%、「焦点がぼやけた」が4%でした。しかし、反省点がなかったわけではありません。東部地域という新しいまちに合った地域参加のきっかけづくり「オトパ」を来年度も開催予定です。協議会では多くの参画者を募っています。皆さんも一緒に運営に参画しませんか?

*開催要領

(1) 開催日時:平成27年10月11日(日)13時30分から(終了18時予定

(2)会場:東京都八王子労政会館 (京王八王子駅から徒歩数分)

(3) 交流会参加費: お一人 1,000円(軽飲食を用意。会費は当日受付にて)

(4)参加申込み:TEL/FAX 042-646-1626 八王子市民活動協議会

八王子自治研究センターとの 共催でシンポジウムを開催し ます。ご参加ください!

会員訪問

市民活動協議会の会員を紹介します 第15回

<八王子センター元気>

〒192-0062 八王子市大横町 11-35 大横保健福祉センター3F

http://homepage3.nifty.com/

15回目を迎えた会員訪問、今回はセンター元気の伊藤涼子代表にお話しをうかがいました。

平成 13 年 4 月からの介護保険施行に合わせて、高齢者が地域でいきいきと暮らせるために、高齢者の社会参加と生きがいづくりが必要とのことから、市民委員や学識経験者で構成する「高齢者の社会参加のしくみづくり検討会」が発足し、市に取り組むべき高齢者事業の提言を提出しました。これを受け平成 14 年八王子市は「八王子市高齢者活動コーディネートセンター」を開設しました。現在このセンターを市から委託を受け運営しているのが「センター元気」です。平成 24 年に 10 周年を迎え今年で 13 年です。特技をもった高齢者とそれを必要とする個人や団体とをコーディネートし、高齢者の生きがいづくりに資す

るさまざまな活動を支援することを目的として活動しています。現在各分野毎に分かれて登録している、概ね60歳以上の講師登録者は約600名、コーディネーター講師は158名います。講師派遣は高齢者施設などを中心に月に100か所にも上り、一人あたり月15回の出動になるほどの忙しさです。最近では学童保育所や病院、サロンからの要請もあり、ニーズは高いです。

講師派遣の人材コーディネート事業の他に、センター元気の主催事業として、①利用者の作品を展示する「作品展」を毎年11月に開催しているほか、②登録ボランティア講師の発表会にあたる「拓けセンター元気」(5月)③市からの委託ですが「シニア元気塾」、これはボランティア入門講座とコーディネーター養成講座があり、無料です。④傾聴ボランティア養成講座や⑤楽しく身につくボランティア養成講座も行っています。特技を活かして有意義な生活をしたい方も、その特技を習って趣味を広げたい方もどうぞセンター元気までご連絡ください。





八王子市民活動協議会 政策研究部 ⑪



八王子市民活動協議会では、NPO団体等の基盤強化、 アカウンタビリティーの推進、寄付社会の醸成を目的にファンド事業を推進しており、その具体的な事業として「物」 の支援を八王子市市民活動支援センターの「ゆめおりファンド」として行なっているところです。

しかし、NPO活動を取り巻く社会環境やニーズが変化していく中、団体には様々な課題がありその課題解決や、継続的活動のために多様な人材が求められています。そこで、八王子市民活動協議会政策研究部「活動資源支援グループ」としてはファンド事業の次のステップとして、活動資源としての「人財」による支援の検討を進めているところです。

近年、いわゆる「プロボノ」という、各分野の専門家が 職業上持っている知識・スキルや経験を活かして社会貢献 するボランティア活動が注目されていますが、こうした手 法はNPOや社会企業が社会課題を解決するスピードを速 めたり、インパクトを大きくしたり、事業の効率化、最適 化を進める上で大変効果的であるといわれています。

一方で、いわゆる人の支援は、感情を持った人と人の関係性から、適正で効果的なマッチングは必ずしも知識やスキルの有無だけでは成立しないデリケートな部分も含まれています。そこで、「活動資源支援グループ」では、団体の運営や予算策定や会計処理のコンサルティング、PR や広告に関する広報支援、事業計画の策定など、団体の様々な課題を多様な「人財」で伴奏支援や直接支援することを想定し、登録した「人財」と相談者(団体)の面談やワークショップを通して、有効なマッチング、支援策を作り出していく手法(アクションラーニング等)を研究、検討しています。実務ベースの支援事業として、平成28年度より八王子市市民活動支援センターのファンド事業として行う準備を進めているところです。







ハ王子ビデオクラブ

八王子ビデオクラブは、クリエイトホール等を拠点に月1回の例会と随時開催の撮影会、初心者向けの勉強会の活動を行っています。また、ケーブルテレビ「J:COM 八王子」の取材協力団体としても活動しています。定年後に始めた方も多数います。

- 1・ビデオを通して地域参加し、人生を楽しもう
- 2・市民団体の活動内容の撮影依頼に貢献しよう
- 3・市の行事を撮影・編集し DVD を贈呈しよう
- 4・自分の好きなテーマを撮影し、編集を楽しもう 毎月第3日曜日午後1時半から例会があります お気軽に覗いてみて下さい

ホームページは「八王子ビデオクラブ」で検索 又は:070-5461-8666(菅原)へ

NPO法人緑サポート八王子活動紹介

緑サポート八王子は里山保全体験活動、自然環境体験活動に関する事業を、子どもから高齢者まで対象に行い、その対象者の利益に寄与することを目的としています。主な活動は下記のとおりです

①里山保全体験事業

里山保全のための緑地保全活動と体験活動などの 実施と普及

- ②東京グリーンシップアクション(GSA) 企業の社会貢献活動として、東京都の所有する緑の 保全地域で、企業の社員等の活動支援する活動
- ③ 自然環境体験事業

小学生や子供たちの環境教育、自然体験学習の企画 並びに具体的指導

緑サポー八王子構成団体(順不同)

- 八大緑遊会
- ・ 戸吹北森を守る会
- ・池の沢に蛍を増やす会

http://www.midorisupport-hachioji.org/index.ht

カウンセリングスペース まてりあ 暮らしの中のカウンセリング

「まてりあ」では、カウンセリング・箱庭体験・不登校ひきこもりの自立支援などを行なっています日常の生活はちゃんとできている。でも、心に何かがひっかかる、心が重い、 落ち着かないということはありませんか?

体験プログラムをぜひ体感ください

- 個人カウンセリング
- 箱庭(療法)体験
- ・エンカウンターグループ



お問合せ:カウンセリングスペース まてりあ

電話: 042-662-8708

(7月1日に高尾駅前に引っ越しました) http://www2.tbb.t-com.ne.jp/materia/

NPO法人 ケアセンター八王子 資格取って活動しませんか?

「NPO法人 ケアセンター八王子」「福祉有償運送運転者」と「セダン等運送運転者」の 2 種類の講習を行っています。新しい介護保険事業では新たな担い手の育成が急務です。また当社ではいろいろな市民活動の啓発事業のも力を入れています。

お問合せ:ケアセンター八王子

電 話: 042-669-5733 FAX: 042-669-5787

活動紹介:

http://www.taiyokun.sakura.ne.jp/index.html

講習申し込み:

http://www.taiyokun.sakura.ne.jp/27.4.kihasukasudou..pdf

八王子チャイルドライン「コッコロ」

チャイルドラインは、電話を通して子どもたちの声を受け止める活動です。悩みをことばにし、それを私たちが受け止めることで、子どもたちは力をとりもどしていきます。私たちは子どもたちの心が少しでも軽くなることを願って、地道な活動を続けてきています。

養成講座の詳細はこちらで → http://coccoro.net/index.php



11 月より「**受け手養成講座」** を開催します。 詳細は HP をご覧ください。

お問い合わせ:42-637-1193 Eメール:hachiouji@coccoro.net